

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	地域福祉論（Communit Welfare）		
ナンバリングコード	E30919	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期集中
必修・選択区分	選択：経営経済学部 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E028901	クラス名	2020以前学生用
担当教員名	河村 裕次		
履修上の注意、履修条件	・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目となっています。 ・講義では、 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。 ・授業時の座席指定：なし ・毎講義開始時に授業プリントを配布します。講義を欠席した場合等は、研究室に取りに来てください。また、配布したプリントは、各自で保管をしてください。		
教科書	毎講義においてプリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	参考テキストについては、講義時に随時紹介します。		
関連科目	コミュニティワーク論，社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，福祉行財政と福祉計画，相談援助の基盤と専門職，相談援助の理論と方法		

○基本情報		
授業の目的	こんにちの社会福祉は地域福祉が中心となり展開されています。各地で多くの実践がなされることにより、その理論構築も進んでいます。本科目では、地域福祉についての基礎的知識の習得を目指します。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、「地域共生のために必要な知識」について、現在地域社会で起きていることについて知り、それらを解決していくための地域福祉のあり方について考えていきます。	
授業の概要	まず、最初に地域福祉は何をするのかについて視聴覚教材を用いながら、考えていきます。その後、地域福の各理論（日本及び諸外国）、地域福祉の変遷等について学んでいきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・地域社会で起きている問題・課題について関心を示すことができる。		20点	
【知識・理解】	・地域福祉の概念と理念を理解している。 ・日本及び諸外国における地域福祉の発展過程について説明することができる。 ・地域福祉の主体と対象について理解している。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	・地域福祉が取り組む課題，求められている背景等について表現することができる。		15点	
【思考・判断・創造】	今日の社会福祉における地域福祉の意義と役割について考察することができる。		25点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
定期試験及び毎講義のリアクションペーパー等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※リアクションペーパーの記述内容及び記載された質問等については、次回の講義時などに可能な限りコメントをします。

○その他
・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目及び「コミュニティワーク論」(後期開講科目)の単位修得が必要となります。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	地域福祉論（Communit Welfare） 河村 裕次	授業コード	E028901
学修内容				
1. オリエンテーション・今、なぜ、地域福祉か 本講義の目的および到達目標等について説明します。 今日、社会福祉の中心として位置づけられている地域福祉について概説します。				
予習	講義の目的等についてシラバスを熟読する			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
2. 地域福祉の概要① 地域福祉について、視聴覚教材（「サイレントプア」）のゴミ屋敷に関する部分を用い、地域福祉は、どのような問題・課題を扱い、どのようなことをするのかについて考えていきます。				
予習	地域福祉が対象とする問題・課題について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
3. 地域福祉の概要② 前回の講義に引き続いて、視聴覚教材（「サイレントプア」）のゴミ屋敷に関する部分を用い、地域福祉における専門職（社会福祉士）の求められる役割について考えていきます。				
予習	シラバスについては、講義時に随時紹介します。			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
4. 地域福祉の意味① 地域福祉が必要とされる理由について、まず、地域の実情について、様々な資料（人口動態等）を用い、現在地域社会での人口の変化、地域社会での関係性の変化等について考えていきます				
予習	地域福祉が求められる事象について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
5. 地域福祉の意味② 地域福祉が必要とされる理由について、前回の講義内容を踏まえ、人口増の変化がもたらす人々の生活課題と地域社会への影響、それらの生活課題を解決するためのバリアフリーについて説明します。				
予習	バリアフリーについてその定義・内容について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
6. 地域福祉の基本的な考え方 地域福祉において、“地域”をどのようにとらえるのかについて、事例（定年退職をしライフサイクルが変化）を用い説明します。また地域福祉が何を対象とするのかについても考えていきます。				
予習	地域福祉における基本的視点について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
7. 地域福祉の概念と範囲① 社会福祉における地域福祉の位置づけ、コミュニティの定義についてヒラリー、テンニース等の定義をもとに考えていきます。				
予習	コミュニティの定義について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
8. 地域福祉の概念と範囲② わが国における地域福祉の捉え方（概念）について、1950年代以降の社会福祉の変遷と照らし合わせながら考えていきます。さらに地域福祉に求められる4つの要件について説明します。				
予習	1950年代以降の社会福祉の主な変遷について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	地域福祉論（Communit Welfare） 河村 裕次	授業コード	E028901
学修内容				
9. 地域福祉の発展過程（イギリス①） 地域福祉の変遷として、まず世界において初めて地域福祉が展開されたイギリスを取り上げます。イギリスの歴史のうち、「慈善組織協会」、「セツルメント運動」について説明します。				
予習	「慈善組織協会」、「セツルメント運動」について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
10. 地域福祉の発展過程（イギリス②） 地域福祉の変遷として、まず世界において初めて地域福祉が展開されたイギリスを取り上げます。イギリスの歴史のうち、コミュニティケア改革を通したコミュニティケアの成り立ちについて説明します。				
予習	イギリスにおけるコミュニティケア改革（諸報告）について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
11. 地域福祉の発展過程（アメリカ） 日本の地域福祉発展に大きな影響を与えたアメリカでのコミュニティオーガニゼーションが誕生した背景について、イギリスの変遷と比較をしながら見ていきます。また、アメリカにおける理論化について、「ニーズ・資源調整説」、「インターグループ説」、「組織化説」、「ロスマンのモデル」等を取り上げ説明をします。				
予習	アメリカにおける理論化について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
12. 地域福祉の発展過程（日本①） 日本における地域福祉の発展を4つに分け説明します。本時では、準備期（1945～1951）、胎動期（1952～1972）について、地域福祉活動の展開、社会福祉協議会の創設、コミュニティオーガニゼーションの浸透と日本への影響について説明します。				
予習	1945～1970年頃までの日本における社会福祉の主な変遷について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
13. 地域福祉の発展過程（日本②） 本時では、地域福祉の発展過程のうち、定礎期（1973～1990）、発展期（1991～）について、在宅福祉サービスをキーワードに説明します。				
予習	1970年代～1990年代での日本における社会福祉の主な変遷について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
14. 地域福祉の発展過程（日本③） 今日の社会福祉や地域福祉の転換期となった社会福祉基礎構造改革の意義・目的や内容について説明します。また地域福祉の根拠法ともいえる社会福祉法について概説します。				
予習	社会福祉基礎構造改革について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
15. 地域福祉の主体と対象 地域福祉の主体と対象について、本時では、「自助・互助・共助・公助」をキーワードに、地域福祉の主体と対象のあり方について説明します。				
予習	「自助・互助・共助・公助」について調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、リアクションペーパーを作成する			約2時間
16. 期末試験 期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。				
予習	これまでの配布資料、板書等を整理するとともに、講義内容について振り返る			
復習				